

令和4年度第1回 沖縄県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和4年7月15日（金）14時～16時

開催場所：WEB会議（Microsoft Teams）

出席者：委員11名

日本年金機構 8名

議 事

1. 開 会 那覇年金事務所副所長
2. あいさつ 那覇年金事務所長
3. 委員紹介

4. 議事

議題1 地域年金展開事業の概要

議事2 令和3年度事業実施結果報告

【資料 沖縄県地域年金事業運営調整会議資料】

事務局よりP2～P21までを説明、各委員より意見・質問・要望をいただき今後の取組に生かしていくこととしました。

議事3 トピックス

議事4 令和4年度事業計画

【資料 沖縄県地域年金事業運営調整会議資料】

事務局よりP22～P32までを説明、各委員より意見・質問・要望をいただき今後の取組に生かしていくこととしました。

議事5 参考資料

【資料 沖縄県地域年金事業運営調整会議資料】

事務局よりP41～P43までを説明、各委員より意見・質問・要望をいただき今後の取組に生かしていくこととしました。

【主な意見・要望・質問】

（坂折委員：協会けんぽ）

公的年金制度の啓蒙活動として大学生あるいは高校生等を対象とするセミナーを実施している状況は、資料により確認できますが、私立学校に対するセミナーの実施は難しいのですか。

（事務局）

沖縄県総務部総務私学課に令和4年7月21日に書面にて協力依頼を予定してい

ます。

(坂折委員：協会けんぽ)

今のところ実施できていないということですか。

(事務局)

はい。

(上原：国民年金基金)

国民年金保険料の納付率を向上させるために地域年金展開事業での関係機関との協力は不可欠です。その中で、源泉徴収票を税務署に確定申告をする方を対象に納付方法（クレジットカード）を案内するチラシを設置してはどうですか。

(事務局)

年度末に確定申告のために源泉徴収票または控除証明書を再交付希望して来所される方々が多数存在することから、各地域の税務署に本人以外が来所される場合は、委任状が必要でとのチラシを設置しています。今後、納付方法のチラシについても設置依頼していきます。

(名嘉座委員長)

令和3年度は、年金委員が、職域型159人、地域型23人増となっています。要因は何ですか。

(事務局)

委員からの紹介や社会保険労務士への勧奨等、各事務所で委嘱拡大を積極的に取り組んだ結果と考えています。

(名嘉座委員長)

今年度も引き続き、委嘱拡大に努力していただきたいです。

(坂折：協会けんぽ)

P25に新型コロナウイルス感染症への対応として、国民年金保険料免除等における臨時特例措置として、令和3年9月末時点において約54.4万件を承認とありますが、これは全国ですか？沖縄県はどのくらいですか。

(事務局)

全国の数値です。沖縄県の数値は、後日回答いたします。

(幸地委員：沖縄市)

オンラインビジネスモデルの実現の基本にマイナンバーカードの活用があると考えますが、沖縄県ではマイナンバーカードの交付が進まないとの現状があります。市

町村ではマイナカードの利用を進めていくべきと考えているので、年金事務所の窓口でも、活用や周知等にご協力いただきたいと思います。

(事務局)

日本年金機構では、ねんきん定期便を送付し、年金の記録を確認していただいているところですが、ねんきんネットにアクセスすることで自身の記録を確認できる方法とマイナンバーカードを利用すれば、マイナポータルからねんきんネットに直接アクセスできる方法があります。

年金事務所へ来所されたお客様にチラシ配布等を行っており、マイナンバーカードの周知も引き続き行っていきます。

(名嘉座委員長)

令和4年度事業計画について何か要望等あればご意見願います。

(新垣委員：社会保険労務士会)

過去2年間、コロナで無料年金相談が開催できませんでした。日本年金機構もオンラインを活用したセミナー等を計画されているとのことなので、社会保険労務士会として協力できることがあればご連絡いただきたいと思います。

(事務局)

社会保険労務士会には、日頃から窓口委託で協力していただいています。今後とも連携を密にしてお客様対応サービス等を行っていきます。また、ご意見ご要望をお願いすることもありますので今後とも宜しく願います。

(上原委員：国民年金基金)

令和3年度の年金セミナー開催が2月に集中しているのはなぜですか。前倒しをすればセミナーの回数を増やせるのですか。

(事務局)

各高等学校で年間カリキュラムが決まっており、年明けの就職活動時期の2月～3月に集中している状況にあります。今年度は、前倒しで実施している高等学校もあり、学年主任の裁量によるところが大きいと考えています。

(名嘉座委員長)

前倒しをして年間を通して更なるセミナーの効率的な実施をお願いします。

(山城委員：県立学校教育課)

補足として、現在は、1・2月の3年生の卒業前に行っていますが、年間行事に入

れるためには、前年度から学校側にアプローチを行っていただきたいと思います。

(事務局)

前倒しで実施できるよう、早めに学校側へのアプローチを行います。

(名嘉座委員長)

市町村から何かないですか。オンラインの課題など。

昨年は、沖縄国際大学のゼミをオンラインで行いましたが、学生の表情や全体の空気がわからないなど課題がありました。

(事務局)

昨年度、中学校（80人）で実施予定が回線の上限を超えたのか生徒数人につながらず、急遽体育館に集合してプロジェクターを使用し実施しました。

ハード面の課題はまだ多いが、先方のニーズに合わせてながら非対面型のセミナーも積極的に実施していきます。

(名嘉座座長)

オンラインを活用することで、離島や遠隔地の学生・生徒にも伝えることができます。積極的に行っていただきたいと思います。

(大里委員：浦添市)

これから少子化が進み役所の職員が少なくなる中で窓口の対応が厳しくなっている状況があります。マイナポータルを活用したサービスのオンライン化を進めていただきたいと思います。そのためにマイナンバーカードが重要になってきます。その活用について、市町村とタイアップして普及していかないとマイナポータルの活用も進んでいかないので周知活動等をお願いします。

(事務局)

引続き、マイナカード、マイナポータルのメリットについて、窓口等でお客様周知を行っていきます。

(事務局)

参考資料で沖縄県の国民年金保険料の国民年金納付率が令和元年度は55.41%でしたが、令和3年度は66.82%となりました。

令和元年に沖縄プロジェクトチームを立ち上げ、戸別訪問や電話勧奨を実施しています。免除率も高くなっているが、免除該当者で未提出も数多くいます。現年度の納付率は、沖縄県66.82%となり、全国73.90%との差が縮まっています。

年齢別の納付率では、全国と比べて、若年者がかなり低いことをうけてセミナー等

で周知を行い、将来に備えてほしいと考えています。
関係機関のさらなるご協力をお願いします。

(名嘉座委員長)

若年者対応が必要ということで引き続きセミナー等対応をお願いします。

(千原：九州厚生局)

沖縄県の納付率は、令和3年度66.82%となり沖縄PT発足以来、毎年向上しております。各年金事務所の各種対策及び各市町村の協力があったことによる結果だと考えております。この場を借りてお礼を申し上げます。引き続き納付率向上のためにご尽力されるようお願い申し上げます。

(名嘉座委員長)

時間になったため、終了とします。本日はオンラインによる開催で聞こえにくい場面もあり申し訳ありませんでした。委員の皆様のご貴重なお意見、ご協力に感謝します。

さきほどの坂折委員のご質問については、後日、事務局より回答させていただきます。

事務局は本日委員から出た意見を今後の事業に生かしていただきたいと思っております。本日はありがとうございました。

後日回答

坂折様からご質問のあった「令和3年度国民年金保険料免除等における沖縄県の臨時特例措置の承認件数」について、機構本部の担当部署に照会したところ、現時点では、数値の公表はしていないとの回答でした。